2024年度 事業報告書

第9期

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

I. 法人の概要

1. 設立年月日

2017年3月15日

2. 定款に定める目的

本財団法人は、建築、土木、開発、エネルギー、環境、防災等に関する学術研究を助成し、もってわが国の学術研究の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- 建築、土木、開発、エネルギー、環境、防災等に関する学術研究に対する助成
- 建築、土木、開発、エネルギー、環境、防災等に関する仕事又は学術研究に将来従事しようとする学生に対する奨学金の給付
- 建築、土木、開発、エネルギー、環境、防災等に関する学術研究を行う研究者の招聘、派遣に対する援助
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル

5. 役員等に関する事項 ※ 2025年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理事長	田中 茂義	非常勤	大成建設株式会社 会長
理事	磯部 雅彦	非常勤	高知工科大学 名誉教授・東京大学 名誉教授
理事	大倉 喜彦	非常勤	中央建物株式会社 社長
理事	加藤 信介	非常勤	東京大学 特命教授・名誉教授
理事	深尾 精一	非常勤	首都大学東京（現 東京都立大学） 名誉教授
理事	藤野 陽三	非常勤	城西大学 学長
理事	松村 秀一	非常勤	神戸芸術工科大学 学長
理事	宮川 豊章	非常勤	京都大学 名誉教授
理事	和田 章	非常勤	東京工業大学（現 東京科学大学） 名誉教授
理事	篠崎 洋三	非常勤	大成建設株式会社 設計本部 副本部長
監事	佐野 裕	非常勤	佐野公認会計士事務所

役職	氏名	常勤・ 非常勤の別	担当職務・現職
評議員	射場本 忠彦	非常勤	東京電機大学 学長
評議員	入倉 孝次郎	非常勤	愛知工業大学 客員教授
評議員	清野 純史	非常勤	京都大学名誉教授
評議員	座小田 豊	非常勤	東北大学 名誉教授
評議員	須川 成利	非常勤	東北大学 教授
評議員	瀧口 克己	非常勤	東京工業大学（現 東京科学大学） 名誉教授
評議員	濱田 政則	非常勤	アジア防災センター センター長
評議員	古谷 誠章	非常勤	早稲田大学 教授
評議員	森地 茂	非常勤	政策研究大学院大学 名誉教授
評議員	吉野 博	非常勤	東北大学 名誉教授
評議員	吉本 一穂	非常勤	早稲田大学 名誉教授

役職	氏名	常勤・ 非常勤の別	担当職務・現職
選考委員長	高田 毅士	非常勤	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 室長
選考委員	小澤 一雅	非常勤	政策研究大学院大学 教授
選考委員	尾本 彰	非常勤	元東京工業大学 特任教授
選考委員	川瀬 貴晴	非常勤	千葉大学 名誉教授
選考委員	木下 庸子	非常勤	工学院大学 名誉教授、株式会社設計組織ADH 代表
選考委員	久野 覚	非常勤	名古屋大学 名誉教授
選考委員	小峯 秀雄	非常勤	早稲田大学 教授
選考委員	下村 匠	非常勤	長岡技術科学大学 教授
選考委員	中島 伸	非常勤	東京都市大学 准教授
選考委員	野口 貴文	非常勤	東京大学 教授
選考委員	原田 和典	非常勤	京都大学 教授
選考委員	古橋 剛	非常勤	日本大学 講師（元教授）
選考委員	堀 宗朗	非常勤	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 部門長
選考委員	水谷 法美	非常勤	名古屋大学 副総長

II.事業の状況

1. 事業の実施状況

1-1. 2024年度助成金の支給状況

2023年度助成対象研究のうち、2024年度も引き続き研究の継続を希望する12件について継続を決定し、助成金を支給した。なお、2022年度助成対象研究のうち、1件については産休の為、研究期間延長の申請がなされていたため、3年目の研究継続について審議し継続を決定した。

また、2024年度の助成対象研究として、58件の応募の中から10件を選定し、助成金を支給した。

2023年度（継続）支給額 21,414千円

2024年度（新規）支給額 19,472千円 支給総額 40,886千円

・2023年度助成対象研究（継続）

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2023年 12月末	所属機関 ・職名	研究課題名
1	計画	23041	吉田 雪乃	27	東京電機大学 ・助教	広域的視点からみた持続可能なコンパクトシティ計画に関する研究
2	構造	23036	八百山 太郎	29	東京大学 ・特任助教	マルチタスク学習に基づく都市基盤施設の知識共有型群監視技術の構築
3		23026	吉敷 祥一	45	東京工業大学 ・教授	実大免震試験施設を活用した免震部材におけるスケール効果の解明
4		23018	伊藤 拓海	47	東京理科大学 ・教授	意匠性・生産性・耐震性に優れた木材と鉄骨の合成接合工法の開発と実用化研究
5	設備・ 環境・ エネルギー	23028	竹林 英樹	50	神戸大学 ・准教授	街区レベルでの効果的な温熱環境情報提供システムの開発
6		23024	吉田 友紀子	47	茨城大学 ・助教	バイオフィリックデザイン空間における自然通風利用促進のための「積極的快適域」の確立と省エネルギー技術の連動に関する研究
7	材料	23003	磯部 和真	31	岡山大学 ・助教	二酸化バナジウム含有マイクロカプセルによる放射冷却の機能的制御
8	地盤・ 岩盤	23007	伊藤 大知	29	早稲田大学 ・助教	各種ベントナイト系材料の透水特性データベース構築および理論的評価方法の高度化
9	防災・ 減災・ 復興	23020	池上 重康	57	北海道大学 ・助教	多様な災害に対応する被災歴史的建造物調査システムの再構築ならびに文化財防災への活用に関する研究
10		23037	北原 優	30	東京大学 ・助教	階層ベイズ更新による既存橋梁の耐震性能評価モデルの構築
11		23005	近広 雄希	36	信州大学 ・助教	シザーズ機構を用いた災害用折畳みパネル橋の最適パネル形態に関する研究
12	リニュー- アル・ 長寿命	23034	崔 瑛	42	横浜国立大学 ・准教授	3Dレーザースキャナーを用いた高精度トンネル変形モニタリング手法の開発
1	防災・ 減災・ 復興	22014	小野村 史穂	38	東京理科大学 ・助教	降水粒子自動判別小型IoTデバイスの開発

3年継続

・ 2024年度助成対象研究

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2023年 12月末	所属機関 ・職名	研究課題名
1	計画	24013	小松 尚	57	名古屋大学 ・教授	中国の農村から都市部への集団転居による住環境の変化とその影響に関する研究
2	構造	24005	木村 祥裕	55	東北大学 ・教授	大地震時の非構造部材の応力伝達機構解明と損傷可視化に基づく地震後継続システムの開発
3	外乱	24047	五十嵐 晃	59	京都大学 ・教授	3次元入力地震動の位相極性に着目した建造物の耐震性能評価法の開発
4	設備・ 環境・ エネルギー	24011	伊藤 禎彦	62	京都大学 ・教授	地域社会における持続可能な水供給計画の立案
5		24004	川村 洋平	50	北海道大学 ・教授	ドローンの姿勢制御パラメータを活用した三次元風向風速計測装置の開発
6	材料	24033	中島 史郎	60	宇都宮大学 ・教授	全国にある木材加工工場にて製造可能なCLT(Cross Laminated Timber)の開発と社会実装
7		24009	太田 千陽	23	京都大学 ・院生	ジオポリマーコンクリートの耐火性能評価と耐火設計法の提案
8	地盤・ 岩盤	24049	松田 達也	38	豊橋技術 科学大学 ・准教授	マルチスケール浸透破壊現象の解明に基づく鋼矢板を用いた対策効果の評価
9	防災・ 減災・ 復興	24021	山城 賢	52	九州大学 ・教授	有明海における漂流物追跡調査と高精度漂流予測シミュレーションモデルの開発
10		24027	ほきばら ともよ 伯耆原 智世	33	早稲田大学 ・専任講師	タブレット型端末を用いた就寝施設における災害時の避難計画手法の開発

1-2. 2025年度助成対象研究の選定状況

2024年度助成対象研究のうち、2025年度も引き続き研究の継続を希望する8件について継続を決定し、助成金を支給する。

また、2024年度の助成対象研究として、81件の応募の中から13件を選定した。なお、助成金の支給は2025年度に実施する。

2024年度（継続）支給額 14,956千円

2025年度（新規）支給額 25,458千円 支給総額 40,413千円

・ 2024年度助成対象研究（継続）

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2024年 12月末	所属機関 ・職名	研究課題名
1	計画	24013	小松 尚	58	名古屋大学 ・教授	中国の農村から都市部への集団転居による住環境の変化とその影響に関する研究
2	構造	24005	木村 祥裕	56	東北大学 ・教授	大地震時の非構造部材の応力伝達機構解明と損傷可視化に基づく地震後継続システムの開発
3	外乱	24047	五十嵐 晃	60	京都大学 ・教授	3次元入力地震動の位相極性に着目した建造物の耐震性能評価法の開発
4	設備・ 環境・ エネルギー	24011	伊藤 禎彦	63	京都大学 ・教授	地域社会における持続可能な水供給計画の立案
5		24004	川村 洋平	51	北海道大学 ・教授	ドローンの姿勢制御パラメータを活用した三次元風向風速計測装置の開発
6	地盤・ 岩盤	24049	松田 達也	39	豊橋技術 科学大学 ・准教授	マルチスケール浸透破壊現象の解明に基づく鋼矢板を用いた対策効果の評価
7	防災・ 減災・ 復興	24021	山城 賢	53	九州大学 ・教授	有明海における漂流物追跡調査と高精度漂流予測シミュレーションモデルの開発
8		24027	伯耆原 智世	34	早稲田大学 ・専任講師	タブレット型端末を用いた就寝施設における災害時の避難計画手法の開発

・ 2025年度助成対象研究

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2024年 12月末時点	所属機関 ・職名	研究課題名
1	計画	25065	堀 裕典	45	岡山大学 ・准教授	地方都市におけるコンパクトシティを前提とした都市マネジメントに関する研究 ー英国・米国・オーストラリア・スウェーデンにおける受益算定の考え方ー
2	構造	25013	山下 哲郎	59	工学院大学 ・教授	デジタル技術を活用したステンレス製ラチスシェル構造の弾塑性座屈実験
3		25024	山田 諒	27	京都大学 ・助教	詳細計測を用いた鋼繊維補強コンクリート耐震壁部材の損傷制御設計手法の提案
4		25031	楊 沐野 (ヤン モノ)	35	九州大学 ・准教授	腐食鋼部材と炭素繊維シートとの接着界面における剥離抑制による高耐久性設計
5	設備・ 環境・ エネルギー	25017	渡辺 一哉	62	東京薬科大学 ・教授	塩素化エチレン汚染地下水浄化のための微生物電気化学技術の開発
6		25066	金 政秀	52	武蔵野大学 ・教授	機械学習によるカメラ画像を用いた着衣量・代謝量推定モデルの開発
7		25002	中嶋 隆	62	京都大学 ・准教授	人体および環境への負荷を大幅に低減する粉塵計測支援パルスレーザー除染法の開発
8	施工	25081	藤澤 隆介	44	北九州市立大学・准 教授	建設現場で多数の重機を連携させるための群ロボットによる自律分散制御の実現
9	材料	25008	呉 多英 (オダモリ)	38	北海道大学 ・助教	乾湿繰り返し手法を用いたセメント硬化体の炭酸化及び混和材への適用に関する研究
10	地盤・ 岩盤	25038	澤田 茉伊	41	東京科学大学 ・准教授	超吸水性樹脂を用いた乾湿環境に強い土の開発と土の再資源化法の提案
11	防災・ 減災・ 復興	25063	松本 直之	38	東北大学 ・助教	木造住宅の外観被害調査精度向上に向けた建築構法・建設年代の図解判定指標の構築
12		25049	荒木 裕行	39	香川大学 ・准教授	土圧軽減効果に着目した城郭石垣のジオグリッドによる耐震補強効果の評価
13	リニュー- アル ・長寿命	25059	大和 征良	49	小山工業高専 ・准教授	部材接合における鉄筋節形状とコンクリート強度の違いが接着系あと施工アンカーの高温時付着強度及び付着破壊性状に与える影響

1-3. 第6回研究成果発表会の開催状況

2024年10月24日に新宿センタービル52階大ホールで第6回研究成果発表会を開催いたしました。今回も昨年度に引き続き、財団理事、評議員、監事、選考委員および発表者の他、一般の参加者にもご来場いただき、同時にライブ配信により発表会の模様をお届けいたしました。

また、財団理事である高知工科大学および東京大学 名誉教授の磯部雅彦様より「津波・高潮の二段防災体制」という題目でご講演をいただきました。

発表終了後には、完了報告書と当日の発表内容の両方を評価して「大成学術財団選奨」金賞、銀賞、銅賞を選出し、金賞に千葉大学の戸塚真里奈助教、銀賞に東京科学大学の千々和伸浩教授、銅賞に東京理科大学の二瓶泰雄教授が選ばれました。表彰式では大成建設株式会社会長の田中茂義理事長より受賞者に表彰状、表彰メダル、副賞が授与されました。

・研究発表課題（2020・21・22年度助成対象研究）

番号	分野	整理番号	研究代表者 (申請者)	年齢 2023年 12月末	所属機関 ・職名	研究課題名	専門分野	
1	構造	20042	神戸 渡	46	関東学院 大学 ・准教授	大規模木造建築物を想定した接合部の割裂耐力の推定方法の提案	構造工学	2020年度
2	防災・ 減災・ 復興	21042	加藤 孝明	56	東京大学 ・教授	「災害時自立生活圏」の提案とその構築の可能性の評価	都市計 画、防災	2021年度
3	計画	22013	李 燕 (リヤ)	36	名古屋大 学 ・助教	イギリスの公共図書館における総量縮減を伴う再編計画に関する研究	建築計画	
4	構造	22017	戸塚 真里奈	31	千葉大学 ・助教	中高層木質構造および混構造における木材のめり込み補強手法の開発とその評価法構築	木質構造	
5		22023	千々和 伸浩	44	東京工業 大学 ・准教授	PC鋼材の破断に伴う鋼材周界面挙動の分析と耐荷機構への影響評価	コンク リート工 学	
6	設備・ 環境・ エネルギー	22032	小林 光	55	東北大学 ・准教授	多様な働き方を想定したオフィス空間に適した昼光利用評価に関する研究	建築環境	
7		22036	長野 克則	63	北海道大 学 ・教授	自前の再生可能エネルギー熱を活用するZEBシミュレーターの開発	熱環境工 学	
8	施工	22010	遠藤 和義	63	工学院大 学 ・教授	緊急事態時を想定した超高速施工システムとサプライチェーンの概念設計	建築生産	
9	材料	22001	胡桃澤 清文	48	北海道大 学 ・准教授	ジオポリマーコンクリートのナノ構造解析手法の開発	建築材料	
10	地盤・ 岩盤	22018	吉本 憲正	50	山口大学 ・准教授	二酸化炭素ハイドレートによる地盤改良技術の開発とカーボンリサイクル	地盤工学	
11	防災・ 減災・ 復興	22019	野田 祐樹	40	大阪大学 ・特任助 教	ナノファイバーからなる静電誘導型振動センサの開発	材料化学 圧電	
12		22009	二瓶 泰雄	54	東京理科 大学 ・教授	近年の豪雨災害データベースに基づく洪水氾濫時の家屋被害関数の構築	河川工学	
13		22022	西嶋 一欽	45	京都大学 ・准教授	空力音源の位置同定と周波数特性解析に基づく街中の風速推定	建築・防 災	
14	リニューアル・ 長寿命	22030	李 春鶴 (リチュンフ)	48	宮崎大学 ・准教授	化学反応理論に基づいた太陽光パネル廃ガラスのコンクリート分野へのリサイクルに関する研究	コンク リート工 学	

2. 重要な契約に関する事項

当期に締結した、高額な資産の売買契約等の重要な契約はありません。

3. 役員会等に関する事項（理事会、評議員会等）

当期に開催した理事会等の開催年月日、議事事項等は以下のとおりである。

会議名称	回数	開催年月日	議事事項等
理事会	第1回	2024年6月11日	<p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023年度事業報告および決算 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 事業報告 1-2. 貸借対照表 1-3. 正味財産増減計算書 1-4. 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書 1-5. 財産目録 2. 奨学金給付事業について <ol style="list-style-type: none"> 2-1. 奨学金給付対象者の決定 2-2. 募集期間の延長について 3. 定時評議員会招集 4. 2025年度研究助成募集要項 <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2024年度助成事業スケジュール
理事会	臨時 (書面)	2024年7月5日	<p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 奨学金給付対象者（追加）の決定
理事会	第2回	2025年3月21日	<p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2025年度事業計画等 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 2025年度事業計画 1-2. 2025年度収支予算書 1-3. 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類 2. 2024年度継続助成対象研究の決定及び2025年度助成対象研究の決定 3. 2025年度奨学金募集要項 4. 選考委員会規程の改定（報酬金額） 5. 選考委員の選任 6. 事務局組織 <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第6回研究成果発表会実施報告

会議名称	回数	開催年月日	議事事項等
評議員会	第1回	2024年6月25日	<p>(決議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023年度決算 1-1. 貸借対照表 1-2. 正味財産増減計算書 1-3. 財産目録 2. 理事・監事・評議員の選任 <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023年度事業報告 2. 助成対象研究選考に関する報告 3. 奨学金給付対象者に関する報告 4. 第5回研究成果発表会実施報告
選考委員会	第1回	2025年3月6日	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2025年度新規課題の選考 2. 2024年度継続課題の審査 <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第6回研究成果発表会の報告 2. 2025年度の応募状況について 3. 木質系選考委員の推薦について 4. 2025年度の新規課題の採択数について 5. 若手研究者の採択数について

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

単位：千円

	2021年 3月期 (第5期)	2022年 3月期 (第6期)	2023年 3月期 (第7期)	2024年 3月期 (第8期)	2025年 3月期 (第9期)
前期繰越収支差額	23,656	29,314	33,394	35,020	39,126
当期寄付金収入合計	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
当期経常費用合計	44,341	45,920	49,002	48,958	59,549
経常外収益	0	0	628	3,064	▲ 680
当期正味財産増加額	5,658	4,080	1,625	4,105	▲ 10,229
次期繰越収支差額	29,314	33,394	35,020	39,126	28,896
資産合計	29,422	33,464	35,020	39,126	28,896
負債合計	107	70	0	0	0
正味財産	29,314	33,394	35,020	39,126	28,896